

5 付 加 価 値 額

- * 付加価値額は3兆743億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が5821億円（構成比18.9%）で最も多い
- * 地域別では、瑞穂町が3168億円（構成比10.3%）で最も多い

(1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が5821億円（構成比18.9%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が3562億円（同11.6%）、「電気機械」が3191億円（同10.4%）となっている。

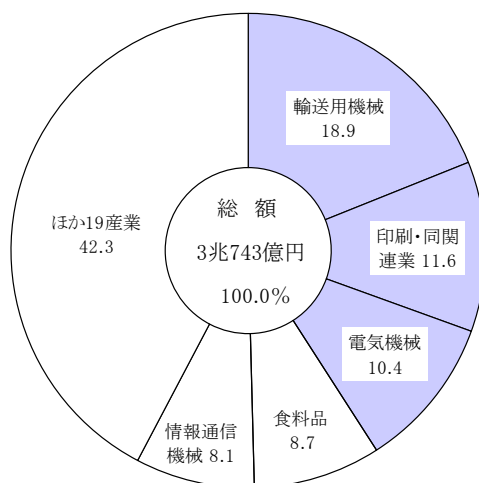
前回と比較すると、13産業が増加し、11産業が減少している。

前回と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「電子・デバイス」の356億円（40.6%）、次いで「生産用機械」の177億円（10.2%）、「化学工業」の100億円（5.9%）となっている。

前回と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「輸送用機械」の1392億円（△19.3%）、次いで「電気機械」の608億円（△16.0%）、「印刷・同関連業」の131億円（△3.6%）となっている。

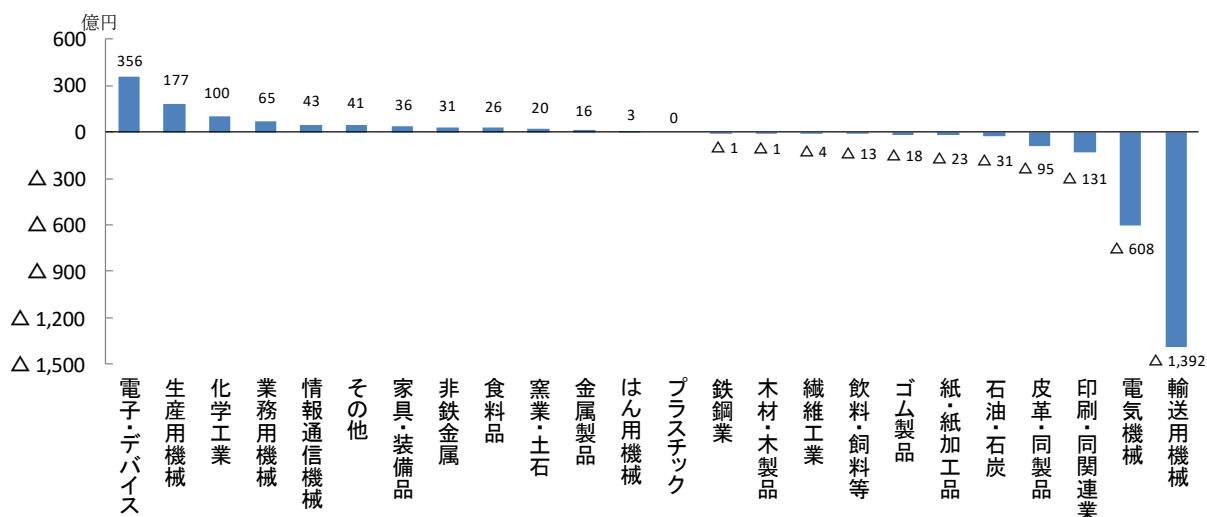
（図21、図22、付表1）

図21 産業中分類別付加価値額構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図22 産業中分類別付加価値額対前回増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

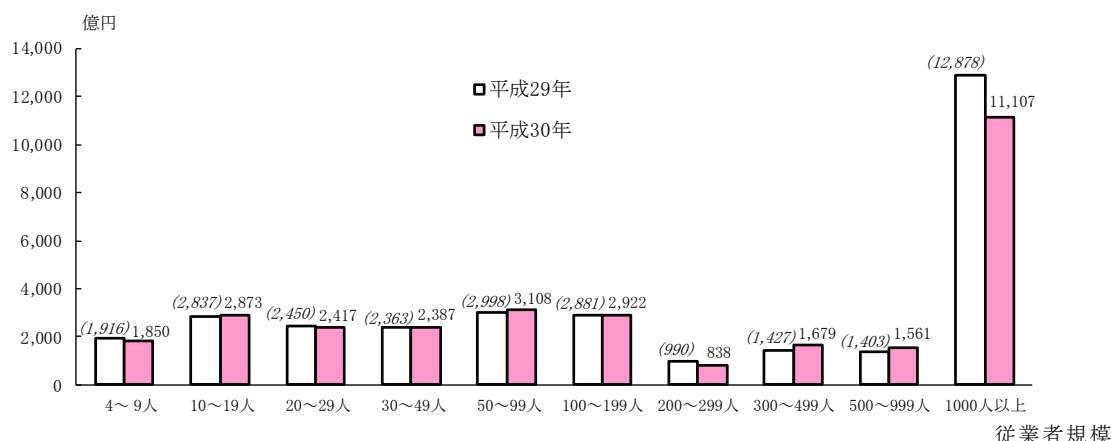
従業者規模別にみると、「1000人以上」が1兆1107億円（構成比36.1%）で最も多く、次いで「50～99人」が3108億円（同10.1%）、「100～199人」が2922億円（同9.5%）となっている。

前回と比較すると、6区分が増加し、4区分が減少している。

前回と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「300～499人」の252億円（17.7%）、次いで「500～999人」の158億円（11.3%）、「50～99人」の110億円（3.7%）となっている。

前回と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「1000人以上」の1771億円（△13.7%）、次いで「200～299人」の152億円（△15.4%）、「4～9人」の66億円（△3.4%）となっている。（図23、付表2）

図23 従業者規模別付加価値額（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が1兆2349億円（構成比40.2%）、市部が1兆5068億円（同49.0%）、郡部が3313億円（同10.8%）、島部が13億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が1744億円（同5.7%）で最も多く、次いで墨田区が1468億円（同4.8%）、板橋区が1409億円（同4.6%）となっている。

市部では、府中市が2586億円（同8.4%）で最も多く、次いで羽村市が2486億円（同8.1%）、昭島市が2221億円（同7.2%）となっている。

郡・島部では、瑞穂町が3168億円（同10.3%）で最も多くなっている。（図24、付表3）

図24 区市町村別付加価値額構成比（従業者4人以上）

